

平成31年2月7日から14日にかけて5回開催した市民懇談会で寄せられたご意見・ご要望等をまとめました。

基本的な柱1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館 に関するもの

- ・課題に気づく力を身に着けるため、図書館の利用方法を子どもに教えてあげてほしい。
- ・公立図書館の資料を、学校図書館でも活用できるしくみづくりを希望する。

基本的な柱2 誰もが利用しやすい図書館 に関するもの

○高齢者・障がい者へのサービスについて

- ・ビジョンに、高齢者・障がい者へのサービスについて明記してほしい。
- ・視覚障がい者へのサービスを充実してほしい。
- ・高齢者向けのイベントを実施し、図書館の活用方法を周知してほしい。

○図書館職員について

- ・(今まで無人だった)図書室に、職員を配置してもらって、よかった。
- ・将来的に図書館の職員数を削減されるのではないかと危惧する。ビジョン実現のためにも、職員の適正な配置をお願いしたい。
- ・職員研修を実施し、選書の充実や郷土資料の活用などにつなげてほしい。

○開館日、開館時間について

- ・土、日、祝日の開館はありがたい。
- ・より多くの方が利用できるよう、開館時間を検討してほしい。

○イベントや各種広報について

- ・地区間のイベント実施内容や実施回数の格差を解消してほしい。
- ・移動図書館車の運行スケジュールや新着図書について、周知方法を工夫してほしい。
- ・市報に利用者数や蔵書数など、図書館に関する数値を掲載して。
- ・図書館サービスに関する、無作為抽出アンケートの実施を希望する。

○施設について

- ・図書室は、施設面での課題が多い(エレベーターがない施設の2階にあり不便、狭い、暗いなど)。
- ・あすなろ教室と真野図書館を切り離さないで。
- ・中央図書館の駐車場が狭い。
- ・学習室が設置されていない図書館・図書室がある。
- ・耐火書庫や、公文書を保管できる施設が必要。
- ・佐渡市は広いので、地理的配慮が必要。図書館・図書室の統合などはしないでほしい。

基本的な柱3 佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館 に関するもの

- ・個人が所有する貴重な郷土資料の散逸を防ぎたい。
- ・図書館もしくは博物館で、個人所有の貴重な資料や美術館の保存を呼び掛けてはどうか。
- ・旧家などに声かけをして、貴重な資料を集めるようにしてみたら。
- ・古文書を読める職員の配置を希望する。
- ・相川図書室に、金銀山に関する資料をそろえてもらいたい。

基本的な柱4 市民と共に歩み、愛される図書館 に関するもの

○図書館の資料・選書について

- ・図書館だけでなく、図書室にも雑誌や新聞、新しい本がたくさん入るといい。
- ・さまざまな分野の本を、まんべんなく収集し、蓄積して行ってほしい。
- ・農業や林業に関する資料の充実を。
- ・電子書籍を見られるサービスを実施してほしい。

○ボランティアについて

- ・図書館を応援したい気持ちを持っている人、さまざまなボランティア活動をしている人がたくさんいる。図書館でボランティアの力を借りたい場面があれば、市民の力を活用してほしい。
- ・少額でもいいので、ボランティア活動への支援をしてもらうことはできないか。
- ・音訳ボランティアをしている。図書館に対面朗読サービスの場を作ることはできないか。

○生涯学習・交流について

- ・図書館は「学習の場」だけでなく、生涯学習、世代間交流、憩いの場でもある。その旨、明記してほしい。

ビジョンおよび市民懇談会 に関するもの

○ビジョンについて

- ・ビジョン策定の経過に、「図書館・図書室利用者アンケートと、市民懇談会の市民の声を反映した」旨も明記してほしい。
- ・図書館の予算や利用実績、職員数など明確な数値を示したビジョンが必要なのでは。
- ・図書館ビジョンに、もっと佐渡らしさ、佐渡ならではの特徴を出してほしい。

○市民懇談会について

- ・佐渡の全地区で、図書館を考える市民懇談会を開催してほしい。
- ・市民懇談会で出された意見を、まとめて公表してほしい。

会場ごと（まとめ）

相川会場 2月7日 参加者 9名

- ・相川図書室の充実（2階にあり不便、新聞がない、本が少ない、金銀山資料が貧弱）に関する要望
- ・視覚障がい者へのサービス充実の希望 など。

7ミュージアム会場 2月12日 ①26名、②9名

- ・あすなろ教室は、引き続き真野図書館の2階に設置してほしい。教室の空き時間に、真野図書館で過ごすことができ、とてもよかった。
- ・16ミリで保存されている、貴重な郷土資料の劣化が心配なので、DVDなどに変換してもらえないか。
- ・利用者アンケートと市民懇談会を実施した旨、ビジョンに明記してほしい。
- ・他の地区で実施した市民懇談会の意見を知りたい。まとめて公表してもらえないか 等。

両津会場 2月13日 24名

- ・図書館を応援したい気持ちでボランティアを続けてきた。図書館業務の中で、ボランティアが活躍できる場を示し、ボランティアを積極的に受け入れてはどうか。
- ・読みたいと思って探していた本が、両津図書館にあってうれしかった。これからも柔軟にさまざまな分野の資料を収集してほしい 等。

羽茂会場 2月14日 19名

- ・移動図書館を利用する人が増えてほしい。じっくり本を選びたいので、一つのステーションにもっと長くいてもらうことはできないか。
- ・佐渡市は広いので図書館の数や配置場所も、地理的な配慮をして決めてほしい。中央図書館だけに集約するようなことはしないで欲しい 等。

佐渡市図書館ビジョン パブリックコメントで寄せられたご意見

No.	ご意見
1	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市図書館デジタルアーカイブの設立を希望します。佐渡の郷土資料(佐渡年代記・佐渡國寺社境内案内帳 他)や佐渡金銀山資料の絵巻等、すでにデジタル化され、他のWebサイト等で公開されている史料の紹介だけでも、佐渡市図書館のHPに掲載していただきたい。 ・先日、「塚原誌」がコピーにもかかわらず禁帯出でした。貴重な史料なので意図は理解できますが、せっかくコピーをするのであれば、もうひと手間かけてデジタル化が可能かと思えます。 ・佐渡金銀山の世界遺産登録をめざす佐渡市として、早急に、貴重な史料のデジタル化と公開を希望します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が、親子で気軽に行ける、過ごせる場所になると良いと思います。 ・両津図書館に授乳室、子どもトイレ、キッズスペース、飲食可能(会話可能)の場所が設置されているのを見て、各図書館・図書室もこのような形にしてほしいと感じました。 ・利用者がいない時間の、図書館・図書室の暖房、電気は、節約に努めてほしいと思います。 ・憩いの場、集いの場をなくしていく事には、反対です。是非とも残して欲しいと考えます。
3	<p>佐渡市図書館ビジョンは抽象的過ぎる。 羽茂地区には農業公社があり、Iターン、新規就農者の方々がいる。羽茂図書室に「Iターンコーナー」「新規就農者コーナー」を設置してはどうか。 他地区についても同様な取り組みがあれば、同様なコーナーを設置するべきである。 ただし、同じものでなく、地区ごとに特色のあるものとすべきと考える。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のハード面を含めて将来を見据えてもらいたい。そうでないと全体像が描けず、一貫性の無い計画になる。 ・図書館ビジョンは、市民が理想とする将来像であってほしい。 ・課題ごとに達成期間を設定し、早めの検証により改善策に繋げるとよいのでは。
5	<p>佐渡市立図書館赤泊図書室では、赤泊歴史資料館も併設されているので、両施設の効果的・密接な連携と運営を期待します。</p>
6	<p>人口減により、佐渡の民俗芸能の後継者も減り続け、消滅する伝承芸能が増加すると思われます。現役の指導者が健在な今のうちに映像化し、図書館の資料として保存し、閲覧・貸出しもできるような体制を作ってほしい。</p>
7	<p>新しくできた両津の図書館に新聞の設置を希望したい。 新聞全紙希望だが、中高生、こども(新聞)を設置するのも面白いのでは。</p>
8	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の課題は多岐に亘っており、これを図書館が解決するとは意味不明。焦点を絞り、本来図書館が負う役割を明確にすべき。 2. 情報の拠点を目指すのであれば、WIFIを導入するなど、これから迎えるユビキタス社会、5Gへの対応力をつける方策を加えるべき。 3. 学校図書館との連携、ほんナビギズなどの活用により、図書館の価値を高め、図書館のシステムを生かし切れていない現状を克服すること。 4. データ化された図書館の利用を、市民に積極的にPRすべきである。 5. 地域の公共施設と図書館の統合、多機能化された施設の中に図書館が存在するような方策を検討すること。

No.	ご意見
9	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館運営の理念について。 公共図書館は市民にサービスを提供する立場なので、市民の自らの主体性を尊重すべきであり、『人づくりを支える』は不相当と考える。また『学びの拠点』とあるが、公共図書館は市民の情報発信の場であると考えた時『…学び…』は一方的で不相当と考える。 ・佐渡市図書館は収集に関する方針を公表していないし、定めてもないようだ。早急に定めるべきと考える。 ・図書館内での犯罪や不審者の侵入に対する対策を講ずべきでは。 ・図書館ビジョン実現のため、数値目標(例えば図書館登録者数、貸出数、来館者数、実利用者数)を設置し、御意見箱などで、図書館利用者の声を積極的に取り入れる方法を考えるべき。 <p>(追加分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両津図書館の開館時間を10:00～19:00にしてほしい。 ・図書館協議会を年6回くらいの協議会を開催し、また協議会委員に島外の図書館の見学等の研修を行って欲しい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の使命として教育の責務が機能し要請される。 ・教育に携わる関係者にとって、教育基本法や憲法は必須の認識要件と考える。 ・ビジョンの『はじめに』にある、「個人と地域の課題解決」や「地域の学びの拠点」に従い、図書館運営や学校教育に、なお一層のご配慮をいただきたい。 <p>追加分</p> <p>憲法改正の是非を判断するためには、正しい情報が必要である。図書館に憲法コーナーを設置し、憲法学習の場を提供してほしい。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの評価と公表を行う時期を明確に示してほしい。 ・施設入所者や入院中の患者、一般勤労者が図書館を利用することも想定した、サービスの充実を希望する。 ・今後10年、ビジョンにおいてまず目標を定め、それに対応した施策を考えて計画・実施して欲しい。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間をせめて18時にしてもらいたい。 ・他の自治体の先進的な図書館を視察し、その有益性を検討して、「市民参加型の図書館」の体制を整えていただきたい。 ・他自治体での、「図書館の有効活用による画期的な地域活性化」の事例を参考にし、施策を検討していただきたい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館運営の理念「…地域の学びの拠点」でなく「地域の情報の拠点」が適切では。 ・基本的な柱は「誰もが利用しやすい」という2が先に来るべきではないか。 ・今後の取組の方向性について <p>図書館法に則った「読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会の主催や、それらの開催の奨励」を入れて欲しい。</p> <p>図書館・図書室に意見箱を設置し、ふだんから利用者の意見や要望を把握してほしい。</p> <p>項目と事業の内容が逆ではないかと感じる箇所がある。</p> <p>市民が主体の市民のための図書館という視点が抜けている。</p>

No.	ご意見
14	<p>①図書購入費が削減された場合、それを補う方法として、市民から読み終えた本の寄付を募るのが一案ではないか。</p> <p>②郷土資料の収集および利用について、図書ばかりではなく、写真や動画で記録されたものなどの収集も必要。</p> <p>③中学、高校生が郷土資料を活用するための基本文献の目録などがあると、調査がしやすくなる。</p> <p>④佐渡関連の図書資料を集めた資料室があれば、佐渡について専門的に調べることの効率があがるのでは。</p> <p>⑤中学、高校生の地域調査活動の報告書を、資料として図書館で残してほしい。</p>
15	<p>①基本的な柱の順序を入替してほしい 理由</p> <p>① 子ども(児童書)は保育園、学校図書館もある。その他に多くの市民がいるので、4を優先。</p> <p>② 柱の5は、サービス論であるので2に入れ込んで整理する。</p> <p>③ 柱の4の「市民参加型図書館運営～」を3にする。したがって4の「魅力的な蔵書の構築」はどこか移す。</p> <p>④ 市民が10年後を見据えて、驚くようなことを考えて欲しい。高齢化しているので、もっと高齢者にやさしくするように。</p> <p>②今以上に、各館に機能を持たせるようなシステムを考えて、正規職員をもっと配置してほしい。</p>

以上